

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム V2.5.7 (2016) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)名東区上社計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	愛知県名古屋市名東区丁田町39番	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年2月22日
敷地面積	1,582 m ²	作成者	
建築面積	671 m ²	確認日	2023年2月28日
延床面積	3,391 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

= BEE1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

- 建設 ■修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

①参照値	100%
②建築物の取組み	99%
③上記+②以外の	99%
④上記+	99%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.5	Q2のスコア = 3.2	Q3のスコア = 2.7
音環境: 3.0, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.6, 空気質環境: 4.5	機能性: 3.4, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.2	生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.1	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 3.0
建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.1, 効率的: 3.6	水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.1, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.0, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	●節湯器具、節水型トイレ採用し、省エネルギー環境に配慮した。	その他 ●特になし。
Q1 室内環境	●シックハウス対策としてF☆☆☆☆を全面的に採用。節水型トイレ、エネファーム、節湯器具を採用。	Q3 室外環境 (敷地内) ●特になし。
LR1 エネルギー	●省エネルギー設備に配慮した。	LR3 敷地外環境 ●屋上広告を一切なくし、光害対策に配慮した。
Q2 サービス性能	●階高にてゆとり空間をもたせた。	
LR2 資源・マテリアル	●ハロン消火剤を使用せず、地球温暖化に配慮した。 ●LGSを採用し再利用可能性向上に努める。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)名東区上社計画 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.1
LR1	エネルギー	3.2	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.2
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.1



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.2



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2)において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。